

10月に入り、朝夕は「急に肌寒いね」という気候になりました。鳳では、勇壮そのもののだんじり祭も無事に終わり、それぞれの地区ではもう来年の準備を始めたと聞いてます。やっぱりこうでなきゃ！



9月に入ると、クリニックの夜診が終わった頃から鳳本通り商店街は活気にあふれます。そう、だんじりの走り込みが始まるんですね。コロナ禍で中止になった年あり、変則開催の年（揉めましたね）などがありましたが、昨年からは足並みを揃えて開催され、私たちもホッとします。とにかく、これほどの熱い気持ちのぶつかり合いが他にあるのでしょうか？地元意識だけでない、薄れてるひととひととの強い絆を実感させてもらえるのがだんじりです。当たり前に開催されていた頃にはそれほど感じなかった想い、私たちも受けとめてこの地で生きていこうと思いました。

【ニュース】

① 診療日の変更

10月5日(木曜日)～13日(金曜日) 巽休診

10月6日(金曜日)～7日(土曜日) だんじり祭 休診

② コロナワクチン予防接種の日程(再掲)

8月末より対象の方に接種券が送付されています。なお9月20日以降のワクチンはオミクロン株 XBB.1.5 対応1価ワクチンです。10月は14日・28日、11月は11日・25日です。2024年3月31日までは無料です。

③ インフルエンザワクチン予防接種(再掲)

今年度の接種方針が決定しました。希望される方は診察時に接種を受けていただくことが可能です。尚、今年は**一部負担金**が必要となります(2024年1月末日まで)。

*堺市在住の65歳以上の方 **1,500円**

*堺市在住の64歳以下の方・他市の方 **3,500円**

条件は、昨年までにミタクリで接種実績のある方およびそのご家族です。窓口にお問い合わせください。

【ミタクリ漢方 ～病人さん、患者さん～(2) 八瀬善郎先生の教え】



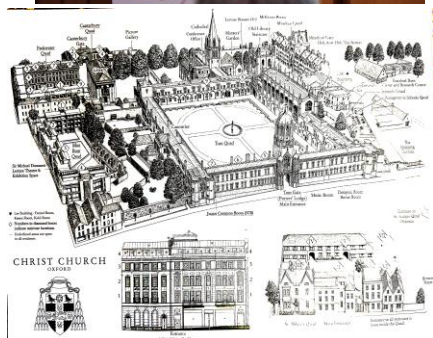
(前号より) そういえば、私の父も患者さんとは言わず、病人さん、病人さんと呼んでました。そこを一度聞いてみたことがあります。「そうか・・・さすが中川先生やなあ。お前が、患者さんと言う度に俺は気持ち悪かったんや。ええか、しっかり勉強せえよ。」・・・やはり、答えはもらえませんでした。病人さん、患者さん・・・うーん・・・

(八瀬善郎先生)

その後、脳神経内科を学ぶために門を叩いたのは、和歌山県立医大の八瀬善郎先生でした。先生は、京都府立医科大学で父と同期の先生で、漢方医学にも理解が深く、昭和57年に大阪で開催された東洋医学会学術総会で教育講演を務められました。当時、まだ学生だった私のこ

ころに感動が深く刻み込まれました。八瀬先生は、残念ながらこの六月に96歳でお亡くなりになりましたが、「三谷君、東洋医学はこのままでいいのかな。」とお会いする度におっしゃっておられました。教育講演の中でもお話しされましたが、「西洋医学で難しい病気を漢方で治せたなんて得意気にするべきではないよ。西洋医学で難しい病気は、漢方でも当然難しい。ただ、その難しさがどう違うかだね。」なるほど、くすりの差だけじゃないのです。師は、常にテーマを与えてくださいますが、答えは自分で考えないといけないのも確かです。八瀬先生は昭和54年に和歌山漢方研究会を立ち上げられ、その第1回目の演者が父でした。先生は、父との勉強会では「病人さん」と表現されておられました。治療法が確立されていない筋萎縮性側索硬化症(ALS)の病人さんに向かう日々、診療が終われば顕微鏡で神経細胞の変化を探る、時間を惜しんで最新の論文に目を通す、先生の後ろ姿から学んだものの大きさ今実感しています。漢方薬は魔法のクスリではありません。しかし、病人さんへの理解を深めることで難病に立ち向かうことができるのです。(次号へ)

【三谷先生の国際学会報告 ～秋のオックスフォードに行ってきました～】



9月下旬、私はイギリス・オックスフォードで開催された第6回 ISJKM (International Symposium for Japanese Kampo Medicine) に参加してきました。しばらくお休みをいただくことになって申しわけありませんでした。この会は、ヨーロッパで日本漢方を学ぼうという先生方のシンポジウムで、私たちはそこに招待され、日ごろの漢方医学の臨床・研究の成果をお伝えする場でした。2001年から北里大学東洋医学研究所に4年間留学されていたジルケ・キャメロン先生(ドイツ・ゲッティンゲン大学)が会長を務められており、その他、イギリス、オランダ、オーストリア・スペインからも多くの先生方が参集され、熱いディスカッションが展開されました。公用語は英語でしたが、お互いにわかり合おうとするディスカッションは、日本語での意思の疎通の図れない会話よりもはるかに有意義な時間でした。ドイツでは、これまでも薬草(ハーブ)による治療は熱心に行われてきましたが、東アジアにおける複数の薬草による治療学(=漢方)には大いに関心があるようで、いろいろと説明させていただく中で、薬能(この薬草はこういった役割がある)と薬理(この薬草には、こういった化学物質が含まれていて、その物質がこう作用する)との整合性をどうつけるかは課題と感じました。いつも朗らかな先生方でも、英語での発表になると肩に力が入っているのがわかり、緊張していることがよくわかりました。

会場は、オックスフォード大学のクライストチャーチ、映画ハリー・ポッターをご覧になった皆さんは、魔法学校の食堂を覚えておられますか。その食堂で朝食と昼食をいただくことができ、大いにテンションが上がりました。宿泊は、休暇中の学生さんの空いた部屋を提供していただきました。この部屋で、世界の頭脳が日々学んでいるんだと思うと、背筋が伸びる思いがしました。3Fの部屋は、広がる庭園風景など、眺めは良かったのですが、エレベーターのない建物でしたので、トランクを持って上がるのが大変でした(おかげで腕の力がつきました)。また、夜の6時には教会から賛美歌が流れ、オレンジ色のランプとともに厳かな気分で過ごすことができました。

気温は、涼しくなった現在の日本よりもまだ低く、着る服にちょっと工夫が要りましたが、セーター一枚を中に着ることで大丈夫でした。本当は、せっかくイギリスに来たんだから、あそこも行きたい、ここも行きたいと思いましたが、そこはお仕事、クライスト・チャーチからは一步も出ず、朝から晩まで会場で過ごしました。でも、日本の漢方医学をヨーロッパでこれだけ多くの先生方が学んでおられることがわかっただけでも大きな収穫でした。この実りの多い有意義な時間を与えていただき、皆さま、本当にありがとうございました。

〈外反母趾について〉

文字通り、母趾が外側に変形したもの。外反母趾になる原因は、ハイヒールやパンプス等の靴による物理的な変形、扁平足や開張足等の足のアーチの崩れからの併発、関節リウマチからの合併症など様々な原因があります。足の変形であるため、歩行時の足底の圧の変化があり、タコ、ウオノメなどを形成し、大変な痛みを伴うことがあります。

当院で対応可能な外反母趾の場合は進行予防を踏まえ、技師装具士によるインソール作成も行っています。ご相談くださいませ。

図 1

外反母趾の診断の基準



【紬～つむぎ～通信 番外編

大河内大博先生 講演会 「たましいの響き」】



すっかりご無沙汰しておりますうちに、秋は深まり朝夕はめっきり冷え込むようになりました。5月より3回シリーズで開催しております「人生会議」ですが、延期となっていた浄土宗 願生寺ご住職の大河内大博先生の講演会の日程が決定いたしました。

大河内先生は「お寺が変われば地域が変わるかも！」という思いで、

超高齢・少子化が加速する日本でのテーマである「地域共生」を軸に子ども食堂やまちの保健室など地域の幅広い年齢層の方々が集える場の運営や、2001年より病院での病床訪問、2006年より遺族支援活動を開始され、入院中の患者さんやその家族に寄り添いこころの声を傾聴されるチャプレンという活動や、訪問看護ステーション「さっとさんが」願生寺の共同代表もされています。長く看護師として緩和ケアに関わった経験から、人生の最期に寄り添ってくれる存在があることは、大きなこころの拠り所になることを身に染みて感じました。なかなかお話を伺うことのできない貴重なお話です。今回は「たましいの響き」というテーマにそって「いのち」の活かし方感じ、学ぶことのできる場にしたいと思います。紬（つむぎ）としては、大きいお部屋を押さえたので（笑）ご家族、お友達の皆様とお誘いあわせのうえ、ご参加お待ちしております。

日時：12月3日（日） 14：00～16：00 場所：堺市西文化会館・ウエスティセミナールーム（7階）

*さっとさんが とはサンスクリット語で“ええご縁”という意味です

クリニックは、5 類引き下げ後も、緊急事態宣言下と変わらぬ対策をいたします。

クリニックの現在の対応について、ご協力よろしくお願いします！

- ① まず、ウイルスを「持ち込まない」ように細心の注意を払っています。
クリニック内を1時間半おきに消毒し、常時換気をしています。待合では間隔を空けて座っていただきます。それでも、待合が混雑したら、元気な方にはウオーキングをお願いしています。
- ② 予約の日であったとしても、調子が悪い場合はすぐに来院せず、まずお電話でご相談ください（072-260-1601）。コロナ専門外来をご受診いただくか、他の病院に紹介すべきかを、まず判断します。当院で診察をする場合は、一般の予約の方と時間と場所を分けて診察しますので、来院していただく時間を指定いたします。
- ③ 2022 年 4 月よりかかりつけの方には、鼻咽頭ぬぐい液を用いる抗原定性検査および PCR 検査、さらにはインフルエンザの迅速検査も実施させていただいてます。しかし、他の迅速検査（溶連菌・マイコプラズマ）は引き続き中止しています。
- ④ クリニック滞在時間を短くするために、尽力しています。診察時間も意識して短くしています。いままでのような、ゆったりしたお話もできないかもしれません（ごめんなさい）。待ち時間が発生するため血液の迅速検査は“どうしてもの場合だけ”に制限させていただきます。質問事項（今回はどんなお薬が必要か、こういった体調の変化があったか、など）や残薬など、あらかじめメモして持参いただけたら助かります。
- ⑤ でも、お困りのことがあれば、ちゃんとお聞きして関係各所におつなぎしますのでご相談ください。「仕事がなくなってお金が入らない」「家賃や公共料金の支払いに困っている」などです。
- ⑥ ミタクリでは、現在オンライン診療（テレビ）を行っています。利用する際には、機器使用料など、いくつかの条件があります。電話のオンライン診療は、7 月末で終了しましたので、よろしくお願いします。詳細につきましては、どうぞ遠慮なくおたずねください。

【外来担当医一覧 2023年10月現在】

予約電話番号：072-260-1601

診察受付時間	月	火	水	木	金	土
午 前 (9:00-11:00)	異	異 三 谷	異（訪問診療） 三 谷	異	異 (オンライン可) 三 谷	三 谷 (オンライン可)
午 後 (14:00-16:00)	異 (オンライン可)	異（訪問診療）	異（予約） 三谷（訪問診療）	異（訪問診療）		
夜 診 (16:30-18:30)		三 谷 (オンライン可)	三 谷 (オンライン可)		三 谷 (オンライン可)	